

既修得単位の認定について【第 2 部】 (一般入試合格者用)

大学または短期大学の卒業者や中途退学により他大学の単位を修得している方のうち、単位認定（本学の単位への読み替え）を希望する場合は、下記のとおり申請してください。（提出期限後の申請は受け付けていません。）

1. 受付期間

2025 年 4 月 4 日（金曜）まで

窓口で提出するか郵送で申請してください。

郵送の場合は、封筒の表に「単位認定願書在中」と朱書きの上、受付期間内に必着するように手続きをしてください。

【送付先】〒651-2187 神戸市西区学園東町 9 丁目 1 学生支援・教育グループ

2. 提出資料

	提出資料	摘要
1	単位認定願書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	成績証明書	出身学校が作成し厳封したもの（コピー不可）
3	講義概要（シラバス）	「単位認定願書」に記入した科目の講義概要が掲載されている箇所に目印をつけて提出してください（コピー可）。
4	戸籍抄本 (※該当者のみ)	※ 婚姻等により成績証明書の姓名が異なる方のみ提出してください（コピー不可）。

3. 認定対象の科目分類・認定上限

科目分類	概要	認定上限 単位数	卒業必要 単位数
兼修語学	本学では、専攻語学に加え、第 2 外国語の履修を求めています。（Ⅰ階程は 1 年生、Ⅱ階程は 2 年生で履修します。）	8 単位	8 単位
全学共通科目	人文、社会科学、自然・人間科学の各領域にまたがる一般教養科目です。（卒業までに各領域から少なくとも 1 科目の単位取得が必要です。）	8 単位	12 単位

4. 認定対象科目

裏面のとおり。

5. 結果通知

結果通知の準備が整い次第、GAIDAI PASS にてお知らせします。（5 月下旬予定）

6. 注意

単位認定願書に記載する希望科目は、単位認定決定後に履修を削除します。授業への出席はできません。

【認定対象科目一覧】

(2024 年 10 月 1 日現在)

科目分類	科目名称
兼修語学 (各科目 2 単位)	(Ⅰ 階程) ※ [1]・[2] を一括して認定 (個別認定は不可) 兼修ロシア語Ⅰ [1] 兼修ロシア語Ⅰ [2] 兼修中国語Ⅰ [1] 兼修中国語Ⅰ [2] 兼修イスパニア語Ⅰ [1] 兼修イスパニア語Ⅰ [2] 兼修フランス語Ⅰ [1] 兼修フランス語Ⅰ [2] 兼修ドイツ語Ⅰ [1] 兼修ドイツ語Ⅰ [2] (Ⅱ 階程) 兼修ロシア語Ⅱ [1] 兼修ロシア語Ⅱ [2] 兼修中国語Ⅱ [1] 兼修中国語Ⅱ [2] 兼修イスパニア語Ⅱ [1] 兼修イスパニア語Ⅱ [2] 兼修フランス語Ⅱ [1] 兼修フランス語Ⅱ [2] 兼修ドイツ語Ⅱ [1] 兼修ドイツ語Ⅱ [2]
全学共通科目 (各科目 2 単位。 ただし、「スポーツ方法 1」・「スポーツ方法 2」のみ各 1 単位)	【人文領域】 宗教学入門、宗教学基礎論、哲学概論、日本思想史、西洋哲学史、ジェンダー論入門、社会学入門、社会学、ヨーロッパ地域論入門、ヨーロッパ地域論、文化人類学 1、文化人類学 2、アジア言語文化の諸問題、西洋史、日本史入門、日本史、歴史学入門、言語学入門、日本語学概論 1、日本語学概論 2、日本語の形と意味、日本語の文法、日本語の多様性、日本語の音声、日本文学論入門、日本文学論、日本文化入門、近現代日本社会入門、日本文化入門「第 3」1、日本文化入門「第 3」2、言語学基礎論 1、言語学基礎論 2、言語類型論、歴史言語学、音声学 1、音声学 2、古典語（ギリシャ語）1、古典語（ギリシャ語）2、古典語（ラテン語）1、古典語（ラテン語）2、日本語教育の基礎、外国人学習者の観点から見た日本語 【社会科学領域】 憲法 1、憲法 2、現代の法、現代の政治、現代の経済、現代日本経済論 1、現代日本経済論 2、ミクロ経済学 1、ミクロ経済学 2、マクロ経済学 1、マクロ経済学 2、刑事法、経済経営入門、簿記原理、日本と世界 1、日本と世界 2 【自然・人間科学領域】 自然の認識 1、自然の認識 2、数理の世界 1、数理の世界 2、統計学 1、統計学 2、情報科学概論 1、情報科学概論 2、情報科学概論 3、人権論、人権教育、人間形成論入門、人間形成論、社会心理学入門 1、社会心理学入門 2、臨床心理学入門 1、臨床心理学入門 2、児童英語教育、スポーツ文化論 1、スポーツ文化論 2、スポーツ方法 1、スポーツ方法 2、ジャーナリズム論 1、ジャーナリズム論 2

【お問い合わせ】

神戸市外国語大学 学生支援・教育グループ 教務入試班

TEL : 078-794-8133 E-mail : info-kyomu@office.kobe-cufs.ac.jp